

暮らしを包む 大きな傘

建築例／
焼津市『ハレの家』
文／ココロポ 山崎健治
写真／Branch 村上幸枝

梅雨明けの建前

今回ご紹介するお宅は、昨年12月に完成した焼津市の『ハレの家』。ちょうど一年前の6月から基礎工事を行い、梅雨明けの7月中旬に建前を行いました。毎年、梅雨明けの同じ時期に、晴天を狙って建前を行うのが恒例になっています。季節は夏！気温も上がり現場の大工にとっては大変な時期ですが、木の家を造る私達にとって最も気になるのは雨。特に、板倉構法の建前は時間が掛かり、通常の在来工法ならば1日で上棟できる大きさでも3日〜4日の工期がかかります。建前が終わり、屋根下地が出来ればブルーシートなどの雨養生も出来るのですが、建前途中の柱や梁だけの状態ではそうもいきません！突然の雨で苦勞した事もありますが、基本的には天気予報とにらめっこをして、1週間程雨が降らない日程を選んで建前を行っています。

今回の『ハレの家』の建前も梅雨明けに行い、無事4日間の建前を終えたことを覚えていきます。タイトルに付けた『ハレの家』の名前通り、晴天の中、気持ちの良い建前を行う事ができました。建前後も工事は順調に進み、住宅工事の工期としては半年程の工期でしたが、実は、今回の住宅工事を行うまでに解決していかなくては行けない事が様々あり、全体の工期とすれば、約1年の間、工事を行っていた事になります。

特別な時間と、
心地よい毎日を過ごす『ハレの家』

2

1／2階の広間はこの家の核。家族の集まるこの場所は、明るく開放的な空間を意識したが、窓際のこの場所は、何処と無く落ち着く雰囲気を感じさせてくれる。

2／『ハレの家』の夕景。2階の大きな窓から灯りが漏れる。木の家の灯りは優しい雰囲気と、ゆっくりとした時の流れを感じさせてくれる。

雨や日差しを防ぐ屋根は、家族を守る大きな傘。
ひとつの傘の中は暖かな空気に包まれ、満たされた時間が流れている。



綿密な建替え計画

新しく土地を購入したり、駐車場などの更地に住宅を建築する場合は、工事のスタート―基礎工事や地盤改良工事となりますが、今まで住んでいた家を取り壊して建築する場合は、家財道具やそれぞれの持ち物などの整理からはじまり、仮住まいへの引っ越し、そして住宅の解体工事を行わなければいけません。一時的な引っ越しとは言っても、子供達の通学や会社への通勤、高齢者と同居している方などは、健康面などでも負担のかからないような配慮が大切になってきます。

『ハレの家』のSさんの場合、同じ敷地内にご両親の暮らす住宅と仕事場が建っており、仕事場はそのまま残し、住宅を取り壊して2世帯で暮らす家に建て替える計画です。しかし、住宅の一部が仕事場の休憩場所になっていたり、仕事場と住宅を行き来しながらご両親の様子を見たりしていると

いうことで、仕事場と住宅はとても密接な関係にありました。新しい家が出来てしまえば問題はないのですが、工事期間中の事を考えると、色々な事を綿密に計画しておく事が求められました。

元々Sさんの希望では、今回の建替え計画に合わせて仕事場の事務所棟も新築したいという意向も有りました。それならばと言うことで、その事務所棟を先に建築し、ご両親の一時的な仮住まい先として使用するという計画になりました。元々倉庫の建っていた場所に事務所棟を計画することになりましたが、仮住まいで必要なトイレや浴室、キッチンなどの設備の計画もなかなか難しく、皆でいろいろな案を出しながら、段階的にクリアーしていける方法を考えていきました。仮住まいとしては決して快適とはいかなかったと思いますが、何とか問題を解決し、住宅の解体、そして新しい住宅の工事を進めて行く事ができました。



3 / 跳ね出した2階が特徴的な外観。跳ね出し部分にはサンルームとベランダが設けられ、毎日を快適に暮らす工夫が詰まっている。

4 / 壁や床に用いた素材が心地よく、清楚な印象の玄関に仕上がった。式台にはナラの耳付き板を使い、自然の作り出した造形も楽しんでほしい。

5 / 仮住まいで活躍した事務所棟。この計画が無かったら今回の建替え計画は難しかったかも…。現在は、本来の事務所として活躍している。

梅雨時期に活躍 サンルームのあるプラン



梅雨時期や花粉の舞う季節などは洗濯物の干す場所に苦労します。仕事をされている奥様にあっては、外に干したいけれど、天気が気になり結局室内干しになってしまうことも少なくないと思います。洗濯物は毎日の事。育ち盛りのお子さんのいる家庭では、2・3回洗濯機を回し、干すスペースに苦労されている方も多いと思います。

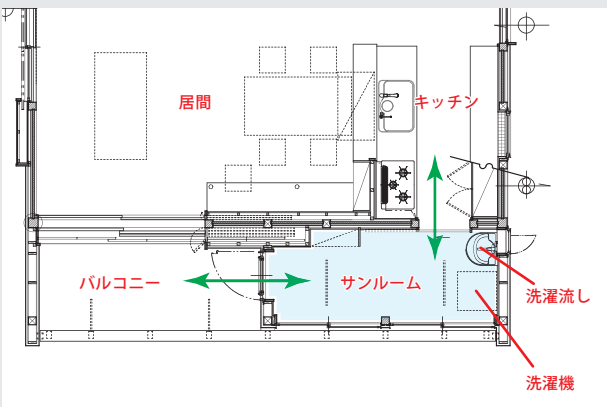
『ハレの家』のプランでは、南側に大きな窓を設けたサンルームをキッチンの

横に配置しました。この場所は家の中で最も日当たりが良い場所ので、一見もったいない配置のように思いますが、広間には十分な開口部を設ける事が出来、キッチンには、朝の光と東西の通風を得られるように窓を配置することにより、この場所に設けても無理は無いと考えました。

サンルームは、前面道路に面した場所なので、外からの視線も気になりますが、木製ブラインドの調整で、光や風を取り込みつつ、視線を隠す事ができます。ま

た、洗濯干しの場所としてだけではなく、洗濯機と洗濯流しを配置する事で、キッチンに居ながら同時に洗濯などの家事仕事が行えるようになり、最短の家事動線が出来上がりました。毎日忙しい奥様の助けになればと、ご主人にも賛同していただき実現することができました。

サンルームのあるプランはちよつと贅沢なプランと思われるかもしれませんが、毎日の暮らしを考えた時、大きな役割を果たしてくれるプランです。



2階に設けたサンルームは、キッチンと隣り合わせの場所に配置しました。また、サンルームはそのままベランダともつながり、季節や天気を見ながら洗濯物の干す場所を選択出来るように考えられています。

A / サンルーム内部。南面に大きな窓を設け光と風を取り込んでいる。天窓の設置も検討したが、夏場の暑さを考え取り止めた。室内は杉板貼りとし、板の調湿効果を期待している。

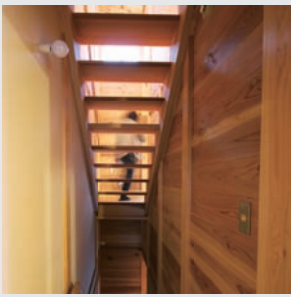
B / サンルームはキッチンとつながっている。台所仕事と平行して洗濯仕事出来る為、忙しい朝などはとても便利。

C / サンルームは、広間のベランダともひとつながり。天気の良い日や、洗濯物が多い日はベランダに干す事も多く、合せて使う事で多機能に使えて便利。

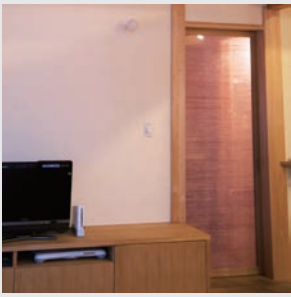


職人をつくるコロパアイテム ―ハレの家より

◆階段 広間からロフトに上がる階段をストリップ階段とした。蹴込板に透明の亚克力板を嵌め、1階階段の明かりとりの役割を果たしている。



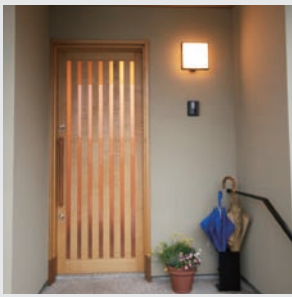
◆葛布 コロパ定番の葛布ガラス。今回は奥さんの希望で少しピンクかった色に染めてもらった。優しく綺麗で女性らしさが上手く出ている。



◆浴室 こちらもコロパ定番の木のお風呂。写真では解かりにくいですが、御影石のカウンターを設け、桶の置場としている。



◆玄関扉 ナラ材で作った玄関引き戸はコロパ定番の縦スリットのデザイン。引き手は開閉しやすいようにバーハンドルを設けた。ケヤキ材を削って建具屋さんに製作してもらっている。



◆手摺 玄関ポーチにはロートアイアンで製作した手摺を設けた。ちょっとしたアイテムだが、叩き出しのアイアンを使う事で玄関の質感を高めている。製作はアトリエプラトーの川合さん。



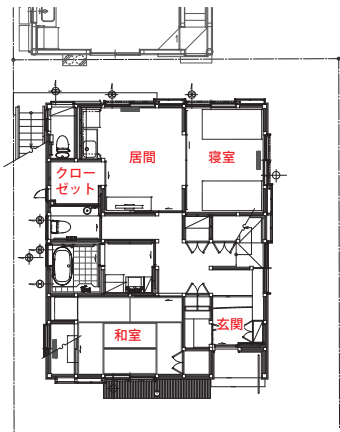
◆ポスト 今回で2回目の製作になる木のポスト。杉の梁材を利用して大工が製作している。笠木に使った伊豆若草石や、少し浮かせたアイアンのネームプレートがアクセント。



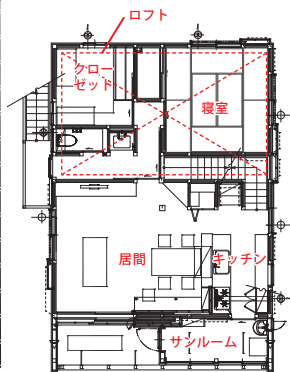
通信設置店のシナージュさんお勧めの洗剤「森のなかま」。松ヤニと水だけで作られた体に安心な洗剤。清涼感有る香りでもとても気持ち良いと評判です。

仕様内容

家族構成	家族 6 人
敷地面積	178.36 m ²
建築面積	78.99 m ²
延べ床面積	136.31 m ²
構法	落とし板壁構法 2 階建て
外部仕上	屋根 ガルバリウム鋼板 長尺段葺き 外壁 ラスモル下地 外部建具 ジョリパッド吹き付け仕上げ 木製オリジナル建具 桧 ナラ ペアガラス+アルミサッシ (ペアガラス)
内部仕上	天井仕上 杉本実張り 厚 12mm 壁 落し込み板現し 厚 30mm、漆喰塗り 床 桧上小節本実板貼り 厚 15mm 内部建具 栗本実板貼り 厚 15mm オリジナル木製建具
設備	キッチン オリジナルキッチン 洗面化粧台 オリジナル化粧台 浴室 オリジナル浴室 壁、天井：青森ヒバ 床、腰壁：サーモタイル 300 角貼
設計者	山崎健治
施工	有限会社ころ木造建築研究所
竣工	平成 23 年 12 月



1 階敷地図



2 階平面図



いつも元気なT君。
ロフトからにっこり。

生活時間を考えた 2世帯3層プラン

Sさんご家族は、ご夫婦とお子さん二人の4人でご近所に住んでいました。ご両親の家とも目と鼻の先と言うことで、奥様や二人のお子さんも毎日の様にご両親の家や仕事場に入出入りしていました。二人のお子さんの成長を考え、また、ご両親やご主人のお仕事の事を考えると、自然と今回の建替計画に進んでいったと伺いました。元々、生体エネルギーについて学んでおられた奥様の強い意志もあり、建替えるなら、新建材をなるべく排除し、自然素材をふんだんに利用した木の家づくりをしたいという事で、様々な勉強会に積極的に参加され、木の事や素材の事についても理解を深めていきました。ちょうどその頃、コロパ通信設置店のシナージュさんのお誘いで参加した『木の来た道』の上映会で奥様と出会った事がきっかけで、Sさんご家族とのお付き合いが始まりました。後で伺ったお話ですが、家造りについてモヤモヤしていた頃にコロパと出会い、自然と方向性が見えてきたと伺いました。Sさんから色々教えて頂きながらではありましたが、家造りについて沢山の話し合いを重ね、今回の建替え計画を進めていきました。

ご両親の近くに住んでいたとは言え、本格的に2世帯で暮らすのは初めての事。高

齢になるご両親や、育ち盛りの二人のお子さんとの関わり合いを考え、それぞれの世帯が無理なく生活するために、生活空間を上下の階に分けた3層プランが出来上がりました。最終的に、1階をご両親のスペース+水廻りとし、2階をメインの広間やキッチン+ご夫婦の寝室としました。広間やキッチンなどのスペースを十分確保する為、また、1階への音の配慮の面から、ロフト空間を利用して、二人のお子さんの部屋を確保する案になりました。

『ハレの家』では間取りの他に、板倉構法で木組みした構造体をはじめ、柱材や床材、様々な造り付けの家具など、Sさんと共にこだわって造り上げてきた場所や工夫もたくさんあります。全部をご紹介しますことはできませんが、写真などを通じて少しでも伝わればうれしく思います。

昨年末に完成し5か月程が過ぎました。年始早々の引っ越しや事務所棟の整理、まだお子さんのご入学などが重なり、まだまだ落ち着いていないと話されていました。昨年はバタバタと忙しい一年を過ごされたと思いますので、少しでも早くのんびりできる時間を過ごしていただきたいと思っています。これから季節は夏。風の通る広間で、ゆっくりお昼寝が出来るといいですね！



ダイニングには本棚とカウンターを設けた。夕食までの時間などに、ちょっとした勉強机になればと考えた。テーブルとベンチは建具屋さんの製作。キッチンやカウンターなどと合せて、タモのハギ板で作られている。